

有限会社相田商事

◆設立は昭和50年。当時整備士だった現会長の昌男氏が自動車整備会社を起こした。その後当時三河町の島広へ入り2トン車で肉・魚を配送した。これが現在のセブンイレブンの配送につながっている。



有限会社相田商事
相田 勝之 社長
(前橋市上泉町)
・セブンイレブンの配送及び自動車修理・電装のほか保険代理業も行う。

「明日から社長をやれ」とある朝突然

◆現社長は整備学校を卒業後、冷凍・冷蔵機のトプレック(株)に入社し電装仕事を担当。25歳で実家に帰り父の仕事を手伝うも、生かさず殺さずの給料に反抗し家出。丸1年間音信不通となった。その間に何度か死に掛けたとのことで、まだ家業をやった方が生きられると”悟り”を開いたらしい。◆その後27~8歳で専務になったが、平成15年の9月、当時36歳。朝、突然社長の昌男氏から「明日から社長をやれ」と言われた。しばし言われたことが理解できず、ようやく「自分もいい加減だが父親はもったか?と、それだけ考えられた」とのこと。◆余談ですが、会長に退いた昌男氏は長年趣味の鉄道模型のジオラマ造りに挑戦?しています。事務局も2年前に拝見しましたがスケールの大きさは半端ではない。先ほどの社長の言葉が物語る程です。

社内改革からスタート

◆現社長が専務の時代、いまから13年位前だが既にセブンイレブンの仕事をやっていた。コンビニが急成長している時代、特に7-11は規律に厳しかった。回りの運送会社は皆揃いのユニフォームを着用していたのに当社ドライバーはテンデンばらばら。言っても聞かない者が多く、大量人数をクビにせざるを得なかった。★「改革ではあったが当時はきつかった」と社長。

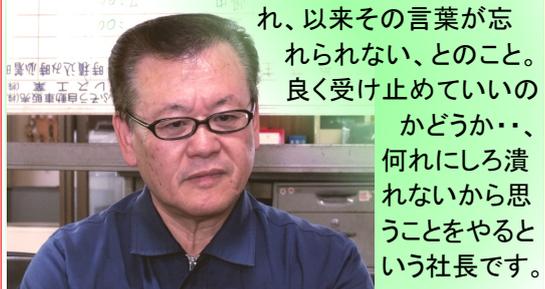
社内の安全取組について

◆社内で重視しているのは”対面点呼”。デジタを分析しデータを持った上で、対面によりドライバーの感情表現から健康状態を察知しデータを見せながら要注意点を伝える。また外部取組としてセブンイレブンのセンターで都度安全教育が行われる。★結果、この10年間無事故を継続している。社長のキメ細かい配慮が効いている証です。

会社の強みはどこなところでしょう?

◆高齢のドライバーが定年退職し平均年齢が42歳と若返った。セブンイレブンでは一般日用品を配送、手積み・手降ろし。”対応力”と”忍耐力”では負けない!ここが強みでしょう。との事です。

◆社長曰く、以前姓名判断をしてもらったことがあるが「あなたには会社を大きく出来ない。でも周りが盛り立てるから会社は潰れない」と言われ、以来その言葉が忘れられない、とのこと。



・写真は社長が頼りにしている事務長の飯塚氏

佐藤運送株式会社

◆白地の箱車に「新鮮便」の清潔なイメージ。誰もが見たことのある佐藤運送(株)さん(佐藤稔也社長)は、昭和8年創業。本社は伊勢崎市間野谷町で県ト協では桐生支部になる。今回は前橋支部会員である前橋営業所・田口所長にお話を伺いました。



佐藤運送(株)前橋営業所
田口 千寿 所長
(前橋市力丸町)
・主にマック食品(株)の製品を「とりせん」の館林物流センターに配送。

「新鮮便」という言葉に...

★個人的な感想で誠に恐縮ですが、佐藤運送さんの(キャッチフレーズと言っているのでしょうか)真っ白なボディに浮かぶこの文字には前から感心していました。”新鮮”という言葉は①新しく、生き生きしている②汚れが無く澄み切っている③今までにない新しさ、の意味がありますが、食品を扱う物流会社として実を的を得ていると思います。管理が行き届いており、清潔で、早い。そして常に新しいことを取り入れていく、そんなイメージを瞬時に感じます。またその文字の前に塗られたライトブルーとグリーンも新鮮さを表すイメージカラーですね。(勝手な理解ですみません)

会社の概要をお聞きました

◆冒頭ご紹介した通り、昭和8年創業で創立80年を迎える。輸配送業務だけでなく保管管理業務にも特化し、冷凍・冷蔵・常温と3温度帯の管理倉庫を有す。特に冷凍自動倉庫は最新設備を導入し、メーカー工場のシステムラインと直結。製造商品が即日入庫するから、メーカーでは余分な保管スペースが不要になり、以降の管理から手が離せる。更に物流センターでは加工室を設置し商品検査、梱包、ラベル貼りまで行う。◆また系列会社として、東日トランスポート(株)、(株)群馬ロジスティクス、(株)ミコーポレーション、交友タクシーがあり、グループ全体での従業員数は700名を超えるとのこと。まさに総合物流会社ですね。



深刻化するドライバー不足

◆運転手は貴重な存在。辞めたらその穴は埋まらない。数年前に採用に関して社内紹介制度をつくり、紹介された人が半年後勤務に定着すれば紹介した人に紹介料を出す。しかし近年紹介料を5万円にしてもダメ。有料の求人を出して東毛地区はまだいいが、前橋・高崎は全く反応がない。と田口所長はドライバー不足を心配する。★(業界の重要課題ですね。)3Kと呼ばれ給料も昔ほどではない、いつの間にか敬遠される職種になってしまった、と田口所長。運賃の底を下げる同業者。このままではダメだ。

◆力を入れていること 何といっても事故防止。グループ全体で事故の原因を考え、対策を立てる。これを個々に書かせ、なぜ?なぜ?で追求する。また安全対策室を設け、月1回安全対策会議を持ち、社内巡回等も定期的に行っている。昔はミラー破損程度なら本社に報告しなかったが今はどんな些細なことも報告しなければならない。◆もう一つ、営業所の業務規模拡大を図っている田口所長でした。

お知らせ
♪総務企画委員会
11/11(日)・12(月)、視察研修会「佐渡」を企画しました。参加費は1人20,000円。厳しい環境の中、会員相互の親睦を図りましょう。

♪事故防止委員会
「交通・労災事故防止総決起大会」
・平成24年10月20日(土) 13:30~15:30
・前橋問屋センター
・業界の最課題である事故防止、皆で大会を盛り上げましょう。

♪陸災防委員会
秋の定期健康診断
・11月に5日間予定
2200~5000にかかる
深夜労働従事者は年2回の受診が必要。

十月の危険日
◆県警より
①10/5(金)・6(土)・7(日)
②10/22(月)・23(火)・24(水)
③10/27(土)・28(日)・29(月)
の3回です。夜間の歩行者・老人は特に要注意。「思いやり通報」にご協力下さい。速度を抑えた運転をお願いします。